

zooがみね



32号

日立市がみね動物園

2000



動物と私

「飼育実習を終えて」

北里大学畜産科 うえ たけ のり こ
上 武 紀 子

私は、今回初めて動物園での飼育実習をさせていただきました。

私は動物園での飼育の仕事にずっと憧れていました。しかし、単に「動物の世話をする。」というあやふやな知識しかなく、実際の作業内容がどんなものかよく分かっていませんでした。それを知るためには、実際に自分で経験してみるのが一番だと思い、今回の実習を希望しました。

私は、主に獣舎や、運動場の掃除、エサの調理、給餌等を実習させていただきました。これらの作業はもちろん大切ですが、動物をよく観察し、その異変に少しでも早く気づいてあげることが飼育係にとって、とても重要な役目であるということを学びました。そのためには、飼育係としての経験も大切なものになってくるのではないかと思います。

今回実習をしてみてもう嬉しかったことは、動物を間近で見る事ができたことだと

思います。いつもは、檻の外から見ていた動物に触れることもできました。しかし、動物園にいる動物は、犬や猫などのペットとは違い、「野性動物」なのだからどんなに人に馴れていても気を抜いてはいけないことを知りました。

他にも二週間という短い期間の中で、私が得る事のできた知識はたくさんあります。これらの知識を生かして、飼育係という職業を単なる憧れではなく、目標として頑張っていきたいと思います。

今回の実習は、動物園職員の方々のおかげでとても充実したものにすることができました。本当にお世話になりました。そしてありがとうございました。

《表紙説明》

■ミニブタ（ゲッチンゲン）

分類：偶蹄目 イノシシ科

ミニブタは、ドイツのゲッチンゲン大学で、医学用の実験動物として小型で、飼いやしく改良された品種です。

ミニブタの他にゲッチンゲン、ミニチュアピッグとも呼ばれ、性質が温和なのでペットとしても飼われています。

もくじ

動物と私	2
動物園の顔（フコブラクダ）	3
飼育レポート①	4
動物園ニュース	6
飼育レポート②	10
かみねのクロサイたち	12
動物園トピック	14
ア・ラ・カルト	15



動物園の顔



フタコブラクダ

偶蹄目：ラクダ科

フタコブラクダは、中央アジアが原産地で、今ではほとんどが家畜として飼われていますが、ゴビ砂漠に数百頭が野生で生息しています。

ラクダは、「砂漠の船」といわれています。暑さ、寒さによく耐え、肉、毛皮、ミルク、燃料となる糞など、砂漠で人間が生活するうえでなくてはならない動物です。

こぼには、脂肪がたくわえられており、食べ物不足したときや、太陽の熱を防ぐのに

役立っています。

草食獣のラクダは、粗食にも耐えることができます。当園では、乾草・ペレット・ヘイキューブを与えています。

ゴマフアザラシの繁殖について 飯 田 伸 弥

■はじめに

ゴマフアザラシは、ベーリング海からオホーツク海に生息し、流水の南下に伴って北海道オホーツク海沿岸に姿を見せるアザラシです。出産期は2～4月で、流水の上で出産し子育てを行ないます。

平成10年3月20日にゲンギとテン早に交尾が確認され、子供の溺死を防ぐため、プール内のくぼみにだけ水を張り、出産に備えました。翌年4月8日に出産し、現在良好に成育しています。その経過について報告します。



■経 過

H10.3.20 交尾確認

H11.4. 1 メスは全く採食しなくなる。オスは採食良好。

4 メスはオスが近づくのを嫌がり、近づくとき威嚇するようになりました。

8 出産 (AM8:30にはすでに生まれていました。子供は山側に、メス親は海側にそれぞれいて、中仕切りを超えられない様子でしたので、子供を抱えてメス親の近くにおいてやりました。すぐにメス親が近づいてきて、腹を見せ授乳姿勢をとりました。メス親は吸い付きやすいように体位をいろいろと変えていました。

AM10:00授乳確認。)

9 雨による水位上昇を考え、ブロックを一枚の高さで敷いて丘を作りました。

10 子供が朝くぼみの中で浮いて泳いでいました。オス親がしきりに子供を警戒し攻撃することがありましたが、



メス親がかばい、子供が傷つくようなことはありませんでした。

11 雨が降り、子供の体温の低下を心配しましたが特に問題なく良好でした。

14 窪みの水を多めにし、水辺を作って



やると子供はそこで遊んでいました。

15 オスが交尾しようとするがメスは拒否 (オスとメスの闘争が絶えなくなる。)

25 白毛からゴマフ模様になりました。

27 子供は全長102cm、体長82cmになりました。

28 水位を20cm程にすると、子供は水の中に顔を入れて楽しそうに遊んでいました。

29 水位30cmにする。子供は魚に興味を示し、くわえたりしますが食べませんでした。ワカサギを入れてみましたが食べませんでした。

5. 1 水位を上げるため、プール内にブロックで陸地を作りました。オスとメスに交尾が認められました。

2 プール内に設けた陸下10cmまで水

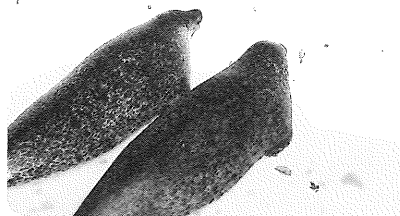
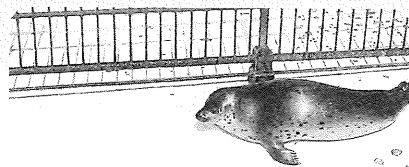
を入れる。子供は陸には上がらず浮いていましたが、翌日には上がっていました。

3 子供離れ。メスが子供に無関心となる。子供の採食はなし。

6 子供は魚をくわえ、遊び遊び少しは食べるようになりました。

9 子供はイワシを何度も噛み、何とか採食するようになりました。

21 子供は魚（サバ）を丸呑みするようになりました。



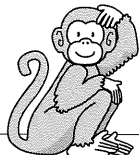
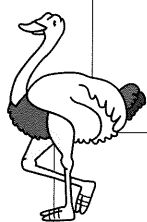
考察

子供の溺死を防ぐために水を抜いて出産に備え、良好な結果を得ることができました。ゴマファザラシの妊娠期間は、245～365日とかなりの幅があり出産時期が特定しにくく、今例では1月4日より水を抜くこととしましたが、出産1週間前からメスの採食がなくなるため、次回からは採食量に合わせて出産に備えられるのではと考えています。

オスとメスの採食経過

(平成11年4月1日～平成11年5月1日)

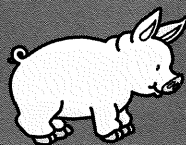
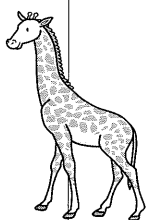
日付	オス	メス	日付	オス	メス
4月1日	良	0	4月17日	0	7
4月2日	良	0	4月18日	0	8
4月3日	良	0	4月19日	0	8
4月4日	良	0	4月20日	5	0
4月5日	良	0	4月21日	上向き	上向き
4月6日	良	0	4月22日	上向き	上向き
4月7日	良	0	4月23日	上向き	上向き
4月8日	0	0	4月24日	上向き	上向き
4月9日	少なめ	0	4月25日	少なめ	少なめ
4月10日	0	0	4月26日	0	5
4月11日	少なめ	3	4月27日	少なめ	少なめ
4月12日	10	1	4月28日	良	良
4月13日	7	2	4月29日	良	良
4月14日	3	7	4月30日	良	良
4月15日	0	5	5月1日	交尾	交尾
4月16日	10	20			



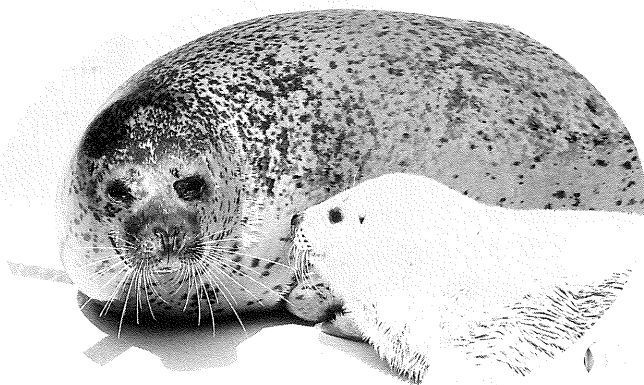
おも で き こと
主な出来事

H11.3.15~H11.12.31

- H11年^{ねん}3.15 アカテタマリン^{はんしよく}繁殖
(双児^{ふたご}オス・メス)
- 3.19 アカテタマリン^{はんしよく}繁殖 (1頭^{とう})
4. 8 ゴマフアザラシ^{あいしよく}繁殖
(愛称^{あいしよく} ゴマ)
- 4.17 エリマキツネザル^{はんしよく}繁殖
(オス^{とう}1頭)
5. 1 ポニー^{はんしよく}繁殖 (メス^{とう}1頭)
5. 2~ 5 ちびっこまつり潮だまり水族^{すいぞく}
館^{しお}開催
5. 8 血液更新^{けつえきこうしん}のためコモンマーモ
セット1頭^{とう}交換
- 5.8~ ニホンザル^{はんしよく}繁殖ラッシュ^{けい}計^{けい}
17頭^{とう}繁殖・うち1頭^{とう}人工^{じんこう}哺育
- 5.17 ミニブタ^{はんしよく}繁殖 (5頭)
7. 6 アジアゾウ^{あじあぞう}採血^{さいけつ}、血液^{けつえき}検査^{けんさ}
- 7.22~23 サマースクール^{さますくーる}開催
8. 1~ 3 夜の^{よる}動物園^{どうぶつえん}開催
- 9.13 潮来^{しらい}町^{まち}に飛来^{ひらい}したモモイロペ
リカン^{りかん}を保護^{ほご}
- 9.15 1日^{いちにち}飼育^{しよく}体験^{たいけん}開催
(市内外^{めいさん}より20名^か参加)
- 9.23 TBS系^{けい}動物^{どうぶつ}奇想^{きそう}天外^{てんがい}取材^{しゆざい}
(シロテナガザル)
10. 1 東海村^{とうかいむら}JCO^{りんかいじ}臨^{りん}界^{かい}事故^{じこ}により
臨時^{りんじ}休園^{きゅうえん}
- 10.18 TBS系^{けい}取材^{しゆざい}
(ホンシュウジカ^{とうじょうかく}2頭^{にとう}除^{じゆ}角)
- 10.20 猛獣^{もうじゆう}脱出^{だつしゆつ}対策^{たいさく}訓練^{くんれん}
クロサイ、カバ^{しゃだんぼうかい}舎^し暖房^{だんぼう}開始^{かいし}
(~H12.5.26まで)
- 10.23 アジアゾウ^{あじあぞう}採血^{さいけつ}、血液^{けつえき}検査^{けんさ}
動物園^{どうぶつえん}写生^{しゃせい}大会^{たいかい}開催
- 10.31 動物園^{どうぶつえん}写生^{しゃせい}大会^{たいかい}開催



どう ぶつ えん
動物園



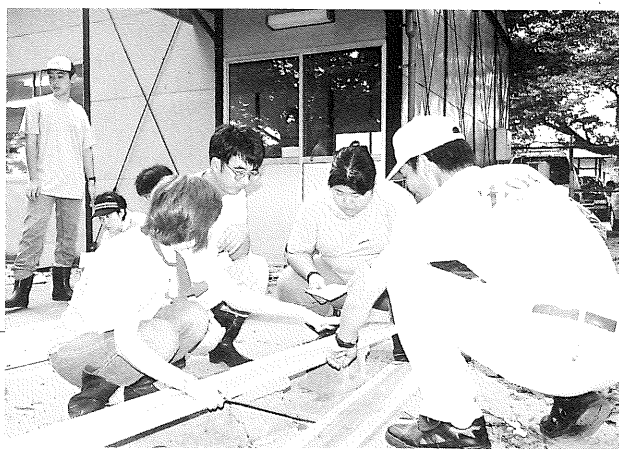
▲ゴマちゃんです。よろしくね。



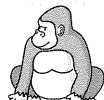
▲サマースクール
「この動物な〜んだ?」

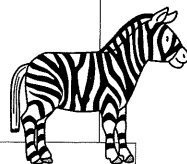
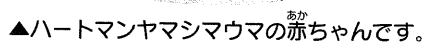
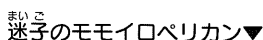
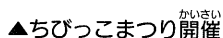


夜の^{よる}動物園^{どうぶつえん}開催 ▶



一日^{いちにち}飼育^{しよく}体験^{たいけん} 果箱^{すけい}ツハの





おも で き こと
主 な 出 来 事

H11.3.15~H11.12.31

11. 3・7 秋まつり開催
あき かいさい

11. 5 ラマ繁殖 (メス1頭)
はんしゅう とう

11.27 ハートマンヤマシマウマ繁殖
はんしゅう

(メス1頭)
とう

12. 8 アジアゾウ舎暖房開始
しやだんぼうかい し

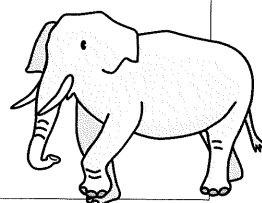
(～H12.4.13まで)

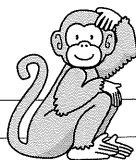
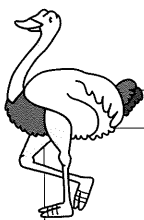
12.13 ハートマンヤマシマウマ削蹄
さくてい

(成獣)
せいじゅう

12.31 ニホンザル人工哺育個体をサ
じんこう ほういく こたい

ル山へ移す
やま うつ

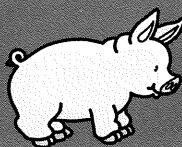
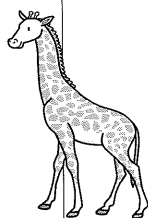




おも で き こと
主な出来事

H12. 1. 4~H11. 6. 29

- H12^{らん}1. 4 ミニブタ^{はんしよく}繁殖 (3頭)^{とう}
- 1.13 レッサーパンダ^{とう}メス1頭^ち(姫姫)^{ごう}
高知県立のいち動物公園より
ブリーディングローンにて搬
入^{はん}
- 2.10 ツキノワグマ^{しゃ}舎に遊具^{ゆうぐ}を設置^{せつち}
- 2.17 クロサイ^{はんしよく}繁殖 (オス1頭)^{とう}
3. 4 クロサイ^{あいしよく}愛称募集受け付け開
始^{かい}
3. 7 プレーリードッグ^{はんしよく}繁殖
(オス1頭)^{とう}
3. 9 フジTV系おはよう茨城取材^{いばらきしゆざい}
(アジアゾウ・クロサイ)^{けい}
- 3.27 ヨーロッパアカリス^{はんしよく}搬入^{はん}
(オス2頭メス1頭)^{とう}
ニホンザル^{はんしよく}搬出^{はん}
(オス7頭メス3頭)^{とう}
- 3.28 ホロホロチョウ^{わはんしよく}5羽^ご搬入^{はん}
(桐生が岡動物園より)^{きりゅう}
- 3.30 第1級国際保護動物であるオ
ットセイ保護^{だい}
4. 4 ミゼットホース (メス1頭)^き
市民から寄贈^{しん}
4. 6 ワオキツネザル^{はんしよく}繁殖 (1頭)^{とう}
4. 7 ラマ^{はんしよく}繁殖 (メス1頭)^{とう}
- 4.11 ホロホロチョウ^わ5羽^ごをハート
マンヤマシマウマ^{どうきよ}と同居
- 4.29 クロサイ命名式開催^{めいめいしきかいさい}
(愛称 マロ)^{あいしよく}
5. 3~ 7 ちびっこまつり^{かいさい}開催
- 5.11・14 アジアゾウ^き危険防止のため牙^{きば}
を切除する^{せつじよ}
- 5.13 ポニー^{はんしよく}繁殖 (メス1頭)^{とう}



どう ぶつ えん
動物園



レッサーパンダが来園しました。

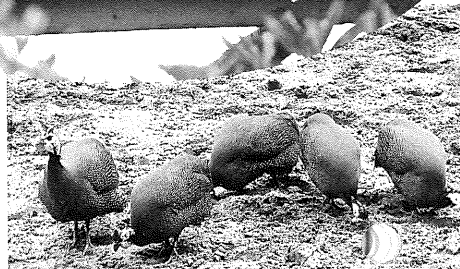


マロ君です。



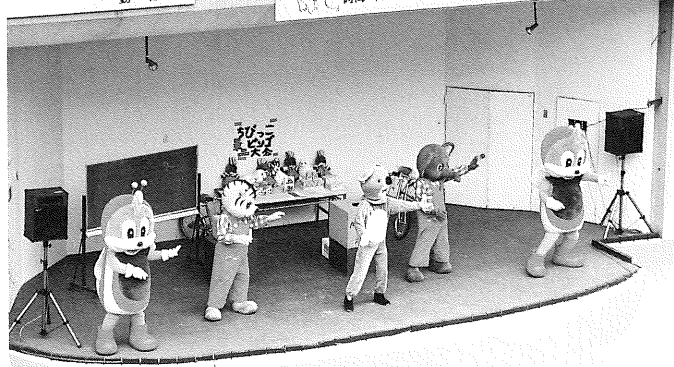
▲ ヨーロッパ
アカリスが来園し
ました。

ホロホロチョウが
来園しました。

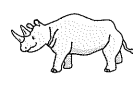
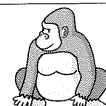


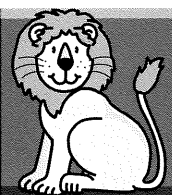
5月3日 祝日
AM11:00 PM2:00
動物園

ちびっこビンゴ大会&抽選会
期日 5月6日・7日
時間 午前11時・午後2時の2回開催



ちびっこまつり開催





ニュース



いってね。

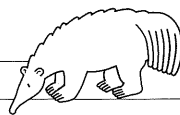
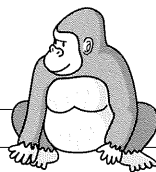
当園ではじめて生まれたプレーリードッグです。



ミゼットホースの「幸子」です。



1,500万人目の入園者中島様親子。ありがとうございます。



おも で き こと 主な出来事

H12. 1. 4~H12. 6. 29

5.14 サバンナモンキー^{はんしゅつ}搬出
(オス1頭)

5.17 エリマキキツネザル^{はんしゅく}繁殖
(オス2頭)

5.22 ラマ^{はんしゅくせいじん}繁殖制限のためラクダ舎^{しゃ}
に移動 (オス2頭メス3頭)

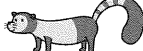
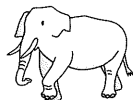
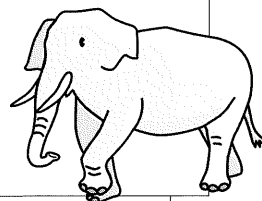
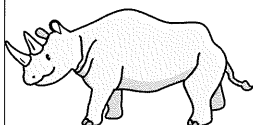
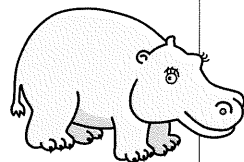
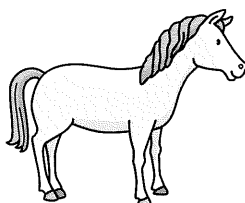
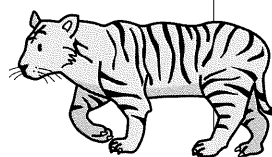
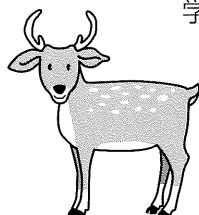
6. 3~13 ホロホロチョウ人工^{じんこう}孵化^{ふか}により
計6羽孵化

6. 4 入園者^{にゅうえんしゃ}1,500万人^{まんにんとうたつ}到達記念式^{ねんしき}
典

6.11 シバヤギ^{はんしゅく}繁殖 (メス1頭)

6.14 職業体験学習^{しよくぎたいけんしゅう}
(日立市立久慈中学校16名)

6.29 職業体験学習^{しよくぎたいけんしゅう}
(ひたちなか市立勝田第三中
学校8名)



とう き き おん すいおん こうどう
冬期の気温と水温におけるカバの行動について

えの もと まこと
榎 本 真

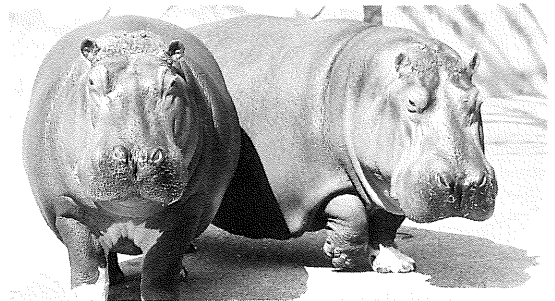
■はじめに

カバは寒い季節になると、よくグランドで甲羅干しをして、プールにはあまり入らなくなりますが、では、どれくらい寒くなると、プールに入らなくなるのでしょうか？

■調査対象個体

メス とう
♀2頭

愛称：バシャン (S.38. 3.12生まれ)
：チャポン (H. 3.12.18生まれ)



■調査方法

朝、舎外させる前に、グランドのプールと寝室の使用していないプールの水温を計り、気温については、サイ舎裏の温度計を計測しました。その後、一日の行動を観察しました。

■調査結果

10/	31	調査開始。1日中水中にいる。
11/	1~15	1日中水中にいる。
/	16	グランドプール水換え行う。
/	17~26	1日中水中にいる。
/	27~30	午前中甲羅干しをしている。午後は水中にいる。
12/	1	グランドプール水換え行う。
/	2~3	午前中甲羅干しをしている。午後は水中にいる。
/	4	この日より寝室のプールの水温を上げるバルブ操作開始。
/	5~12	午前中甲羅干しをしている。午後は水中にいる。
/	13~14	午前中甲羅干しをしている。午後少し水に入り、その後甲羅干しをしている。
/	15	グランドプール水換え行う。
/	16~23	午前中甲羅干しをしている。午後少し水に入り、その後甲羅干しをしている。
/	24	1日中甲羅干しをしている。
/	25~27	午前中甲羅干しをしている。午後少し水に入り、その後甲羅干しをしている。
/	28	グランドプール水換え行う。
/	29~31	午前中甲羅干しをしている。午後少し水に入り、その後甲羅干しをしている。
1/	1~6	1日中甲羅干しをしている。
/	7~14	1日中甲羅干しをし、入舎前に少しだけ水に入る。
/	15	グランドプール水換え行う。
/	16~19	午前中甲羅干しをしている。午後は水中にいる。
/	20~26	1日中甲羅干しをしている。
/	27~28	グランドプール結氷する。1日中甲羅干しをしている。
/	29~31	1日中甲羅干しをしている。
2/	1~5	1日中甲羅干しをしている。
/	6	午前中甲羅干しをしている。午後少し水に入り、その後甲羅干しをしている。
/	7~8	1日中甲羅干しをしている。

／ 9	グランドプール水換え行う。
／ 11～14	1日中甲羅干しをしている。
／ 15	降雪の為か、存だけ午前中少しだけ入水し、その後甲羅干しをしている。
2／ 16	1日中甲羅干しをしている。
／ 17～18	グランドプール結氷する。1日中甲羅干しをしている。
／ 19～22	1日中甲羅干しをしている。
／ 23～25	グランドプール結氷する。1日中甲羅干しをしている。
3／ 1～4	1日中甲羅干しをしている。
／ 5～8	1日中水中にいる。
／ 9～11	午前中甲羅干しをしている。午後は水中にいる。
／ 12～13	1日中水中にいる。
／ 14	午前中少し水に入り、その後甲羅干しをしている。
／ 15	グランドプール水換え行う。
／ 16～28	1日中水中にいる。
／ 29	グランドプール水換え行う。
／ 30～31	1日中水中にいる。
4／ 1～3	1日中水中にいる。
／ 4	午前中少し甲羅干しをし、その後は水中にいる。
／ 5～11	1日中水中にいる。
／ 12	グランドプール水換え行う。
／ 13～25	1日中水中にいる。
／ 26	グランドプール水換え行う。
／ 27～30	1日中水中にいる。

■ 考 察

10月31日より調査を開始しました。11月の下旬の頃より午前中、日なたで甲羅干しをするのが観察されました。この頃のグランドのプールの水温は11～12℃で、気温も11～14℃前後とぐっと下がってきました。その後、12月中旬までは午前中のみ甲羅干しが観察されました。12月下旬になると、午後に1～2時間ほど水に入っただけで、1日の中で甲羅干しをしている時間のほうが多く見られました。年が明けて1月に入ると、気温も10℃を下回る日が多くなり、グランドのプールが全面結氷する日もありました。この頃から2月のあいだは、グランドのプールの水温も5℃前後で、雨や雪の降った日以外は、さすがに水に入ることはなく、1日中、日なたで甲羅干しをするのが観察されました。3月に入ると気温が徐々に上がってきて、グランドのプールの水温も7～9℃前後になってきました。この頃にはそれまで1日中甲羅干しだったのが、午前か午後の1～2時間ほどですが、水に入るのが観察されました。3月も中旬を過ぎると、だいぶ暖かくなり、グランドのプールの水温も10℃を超えるようになりました。この頃には、餌を食べるとき以外は、1日中水の中にいるようになりました。

■ 調査を終えて

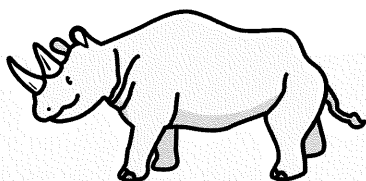
この調査で分かったことは、カバは気温が11～14℃前後、若しくは、グランドのプールの水温が10℃を下回ると、午前か午後に甲羅干しを始めるようです。そして、気温が10℃を下回り、グランドのプールの水温が5℃よりも下がるような季節になると、水の中には入らず、1日中日なたで過ごすようです。

今後は、カバの行動をさらに注意深く観察し、来園者の皆さんのためになるような飼育展示の工夫や、カバのためになるような飼育環境の改善に努めていきたいと考えています。



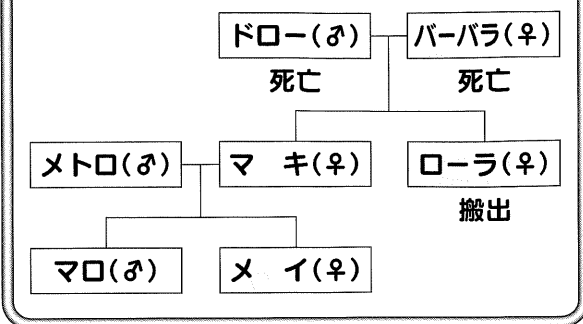
特集 かみねの

クロサイたち



今年の2月17日雄の赤ん坊が生まれ、公募により「マロ」と名付けられ、すくすくと育っています。マロの誕生を良い機会にかみね動物園のクロサイたちをご紹介します。

家系図



ドロー

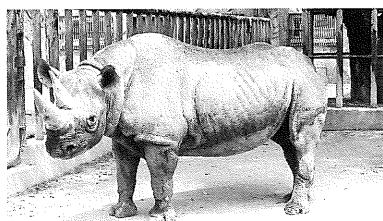


アフリカから船でやって来ました。グランドの立ち木の保護柵を倒したり、扉のカギを角で外してしまうなど、とてもイタズラ好きでした。性格はおとなしく、声を掛けて体をなでやると気持ちよさそうに横になり、背中に乗ることもできました。パーバラとともに、かみねのクロサイの大本になりました。

昭和49年10月29日入園

平成5年2月6日死亡

バーバラ

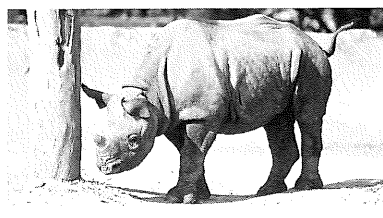


昭和40年アフリカから大阪の天王寺動物園に入園し、1仔を生んだ後、かみねにやって来ました。とても気が荒く、しばらくは餌も遠くから投げ入れなければなりませんでした。ドローとの間に双子を含め6頭をもうけましたが、4頭目までは元気に育ってくれませんでした。ローラを生んでから目が優しくなりおとなしくなりました。平成10年クロサイ長寿日本一で動物愛護協会の表彰を受けました。

昭和52年4月7日入園

平成10年10月1日死亡

ローラ



公募により「ローラ」と付けていただきすくすく育ち、雄親のドローと角突きで遊ぶなど微笑ましい姿を見せてくれました。第2仔のマキが生まれた後、職員の思いを一杯つめ込んで2歳4ヶ月のときに、横浜市の金沢動物園に出園して行きました。金沢動物園では、2頭の仔を出産し、元気に暮らしています。

昭和63年8月21日生まれ

平成3年1月8日出園

マ キ



姉のローラよりやんちゃで、泥んこになってよく遊んでいました。少しでも不安になると「キューン、キューン」とかん高い声で鳴き母親を呼んでいた甘えん坊も、今では、2頭の仔をもうけ、立派な母親ぶりを見せています。かみね生まれのかみね育ちのためとてもおびのびとしています。最近では、亡くなったバーバラに体格、角の形などが似て来ました。

平成 2年 6月 8日生まれ

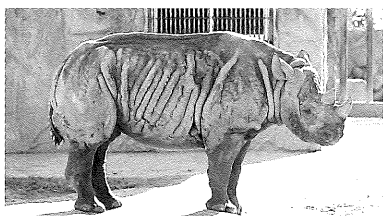
メ トロ



マキのお婿さんとして入園しました。少し痩せていましたが、今では立派な体格になりました。性格はおとなしく、職員にもよく慣れています。興奮するとすさまじい勢いで突進することもあり、9歳という若さゆえエネルギーのかたまりといったところもあります。クロサイは、国際的に個体管理がされており出生地で付けられた「トンカ」という国際ネームがついています。

平成 2年 11月 10日 マイアミメトロ動物園生まれ
平成 5年 8月 20日入園

メ イ



5月生まれにちなみ、公募により「メイ」と名付けられました。生まれつき体のしわの深い子供で、今でも一目みればすぐに分かります。マロが生まれる前日に仔別れがあり、母親のマキに追い立てられましたが、今では、1頭でいることにも慣れてきたようです。現在は、マロと交互に外に出しているため、午後にグランドでくつろいでいる姿が見られると思います。

平成 10年 5月 21日生まれ

マ ロ

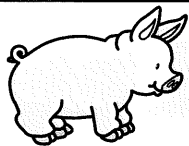


姉のメイとともに動物園育ちの三世ということになります。生まれた時は、全長80cm、体重30kgと少し小ぶりでした。グランドには主に午前中、母親のマキと一緒に出していますが、母親の傍らで眠っている姿、後ろを一生懸命ついて歩く姿、小さな角で角突きしてじゃれる姿、とてもかわいらしいです。公募により「マロ」というすてきな名前をつけてもらいました。

平成 12年 2月 17日生まれ

さいごに.....

- クロサイは野性では密猟や生息地の破壊などで2000~2400頭くらいに減っています。協力し合っ
- て希少動物を保護、保存していくことが、世界的に動物園の使命ともなっており、かみね生まれのクロ
- サイたちも旅立つ日が来ると思います。あたたかく見守ってくださいね。



どうぶつえん トピックス

かみね動物園では、今年のゴールデンウィークより、毎週天気の良い日曜日になると、動物園オリジナルのエプロンをかけた女性が4名、ボランティア活動として子ども動物園で小さなお子さんを中心に、ウサギやモルモット、ヘビの抱き方や触り方を、やさしく教えてくださいます。

動物園では、ボランティアの方を迎えたのは初めてのことで、今回の4名は皆 高校3年生です。子どもと動物が好きで、動物園での活動も楽しいと言っています。

ゴールデンウィーク中は、目のまわる忙しさのなか不馴れながらも、頑張ってくれました。約3ヶ月が過ぎ、だいぶ活動内容に慣れてきたようで、職員達も安心してしています。何より本人たちのヤル気が伝わってくるので、動物園としても、とてもうれしく思い、今後このようなボランティアの方々が増え、市民に親しまれ、よりのしい魅力ある動物園になっていきたいと思っています。



わたしが動物園での活動を
しているきっかけは、学校の
先生の「ボランティアをや
ってみませんか？」の一言でし
た。当時の私は、ボランティ
アについて興味はあったが、

遠い存在でした。この先生の一言で機会をもらい、
動物園でのボランティアが始まりました。

動物園のなかのふれあいコーナーで、職員の
方々に教わり、動物園に来てくれた子供達に接す
ることで、とても楽しい活動を行っています。

これからは、もっともっと楽しく活動するため
にも、新しい仲間を増やしていきたいと思ってい
ます。

大和田 梨佳



ボランティア活動をしてみ

ようと思ったきっかけは、た
だ子供が好きだからでした。
動物は触れない動物が多く
て、内心ちょっと不安でした。

でもそんな不安はすぐになく

なりました。動物はとても人なつこくて、すぐ
になれてきてくれました。でも、今でもヘビは触
れないので、今後触れるように努力しよう
と思っています。

鈴木 麻美



私はかみね動物園でボラン
ティアをしています。ボラ
ンティアというと、動物園と
いうイメージはあまりありま
せんが、「ふれあいコーナー」
という場所で、子供達にウサ

ギ・ヒヨコ・テンジクネズミ・ニシキヘビなどを
触らせてあげる仕事をしています。

ボランティアは以前からやってみたいと思っ
ていました。動物園でのボランティアをする人は、
私たちが初めてです。最初は子供達や動物に接す
ることが難しかったけれども、今はとても楽しく
やっています。これから動物園でボランティアを
する人が増えるといいなと思っています。

菊池 陽子



私は、将来人と関わる仕事

がしたく、そのうえで何かし
ようと思い、ボランティア活
動をすることにしました。

最初は何をやっているかわ
からず、不安でいっぱいでは
したが、飼育係の方々に親切に接していただいたお

かげで、不安もなくなり、楽しく活動しています。
また、子供達にうさぎの抱きかたや、ヘビの種類
などを教えたりすることで、私にとってもすごく
いい勉強になっています。それと、子供達に接す
るにつれ、子供達の感情なども分かってきました。

私は、かみね動物園のボランティアをやってと
ても良かったと思っています。今後、もっとボラ
ンティア活動をする人が増えればいいなと思っ
ています。

川 又 悠 希



変なお母さん

エリマキキツネザルに5月17日、2頭のかわいい赤ちゃんが生まれました。エリマキキツネザルは白と黒のパンダを連想させるような美しい原始的な原猿と呼ばれるサルです。

赤ちゃんは、生まれてからしばらくは巣の中でおかあさんに守られながら過ごします。4、5日するとお母さんは、赤ちゃんを口にくわえて巣から連れ出すようになります。赤ちゃんは、この頃まだ、自分で移動したり、お母さんにしがみついたりできないため、お母さんは口にくわえて運搬するのです。2週間ほど経ってお母さんと赤ちゃんを運動場へ出そうと思い、扉を開きました。するとお母さんはどうしたか、自分だけさっさと出て行ってしまい、赤ちゃんを寝室に置き去りにしてしまいました。しばらく扉を開けたままの状態にしましたが、いっこうに戻って来てあかちゃんを連れていく様子がありません。仕方なく飼育係の私が2頭の赤ちゃんを運動場へ連れていってあげました。夕方移動の時もまた、お母さんは1頭で赤ちゃんたちを置き去りにして、寝室に戻ってしまい、バクバク食事をしてしまいました。また、私が赤ちゃんたちを運んであげました。その後も、お母さんは、朝、夕の移動の時だけは、赤ちゃんたちを冷たくぼったらかしです。その時以外は面会見のいいやさしいお母さんなのですが、赤ちゃん達を自立させようと

するしかたなしの行為なのか、それにしても見事な無関心ぶりです。おかげで、朝、夕2回の赤ちゃんたちの運搬は、私の役割になってしまいました。赤ちゃん達が自分で部屋の移動ができるようになるまで、私のこの日課は続きそうです。

かわいいノラ達...

今回は我家で飼っているペットの話です。我家では血統書付きのペットは飼ったことがありません。皆、いろいろな縁で供に暮らすようになったノラ達です。

なかでも昨年死にいたイヌが我家に来た時はすでに成犬になっていて、ひとつこい割に何かの拍子に闘争心がむき出しになる、なかなか厄介なイヌでした。かみつかれたことも一度や二度ではありません。散歩に出かけるのも真剣勝負。「もう、とても飼いきれない」と思うこともしばしば。でも、かつては飼われていたらしいそのイヌと信頼関係がなかなか築けないのも、我家にたどり着くまでに係わった人間達のせいなのか、と思うと手放すことはできません。そんなイヌも我家に来て十数年。年齢のせいもあり、息を引き取るときには、動かめ体を何とか主の方に向けようとするまでになりました。途中で手放さなくて本当に良かったと思っています。

動物園にも仔ネコや仔イヌを捨てられてしまうことがあります。せめて、この機関誌の読者の皆様は不幸な動物達を増やさないように、ペットには避妊・去勢の措置をしてくださいな。

WWFジャパンからのお知らせ

WWFは、1961年に設立され、世界153カ国で12,000件以上の事業を行ってきた民間の自然保護団体です。WWFジャパン（財）世界自然保護基金日本委員会）は、自然環境を守り、野生の動植物を救うために資金を集めています。

みなさんも、同じ地球にいる仲間として、ぜひWWFジャパンの事業に協力しませんか。

★入会や寄付に関するお問い合わせは下記まで
〒105-0014 東京都港区芝3-1-14
日本生命赤羽橋ビル6F
（財）世界自然保護基金日本委員会
☎03-3769-1241（会員係）

協力の方法

1. 会員になる

会員の方には会員証を発行し、定期的に機関誌をお送りします。年会費は、

○Jrレンジャー会員（15歳まで）	1,500円
○レンジャー会員（20歳まで）	3,000円
○一般会員	5,000円 10,000円 15,000円 30,000円 60,000円

2. 寄付をする

3. 募金に協力する

○みなさんの会費や寄付、募金は、日本国内だけでなく、世界の動植物を救うために使われます。

告知板

◎行事案内

1. 一日飼育体験…………… 9月15日
2. かみね公園秋まつり…10月29日・11月3・4・5日
3. 正月まつり…………… 1月上旬

◎「ふれあい教室」開催… 3月～6月、9月～11月

子供動物園ふれあい広場にて火～金曜日
10:30～12:00、一日先着4団体。予約制です。

飼育動物点数（平成12年7月1日現在）

哺乳類	54種	320点
鳥類	42種	214点
爬虫類	6種	29点
合計	102種	563点

ZOOかみね 32号

編集・発行

発行日

日立市かみね動物園

2000.8.20

日立市宮田町5-2-22

☎(0294) 22-5586

FAX (0294) 22-5596



日立市かみね動物園